

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年04月01日

計画の名称	荒尾駅周辺地区の再生(第2期)											
計画の期間	令和03年度 ~ 令和06年度 (4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	荒尾市											
計画の目標	<p>本地区では、荒尾市の中心市街地であるJR荒尾駅周辺地区に位置し、国道389号に面する交通利便性の高い土地であるものの、荒尾競馬場廃止以降は公有地と民有地の入り組んだ広大な遊休地になっている。平成27年度に地域規格道路有明海沿岸道路が事業化され、地区内にはインターチェンジの整備が予定されていることから、更なる経済、定住圏の広域連携が求められる。</p> <p>このことから、地域高規格道路とのアクセス道路整備と土地区画整理事業による宅地の利用増進を図り、広域交通アクセスの利便性を活かした都市機能の誘導により賑わいを創出することで、地区の拠点性の強化することを目標とする。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,525	A	1,525	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R6末
1	荒尾駅周辺地区内に居住する人口比率が20.4%(R3当初)から20.9%(R6末)に増加			
	荒尾駅周辺地区内に居住する人口比率 (荒尾駅周辺地区内に居住する人口)/(荒尾市の人口)	20%	20%	21%
2	土地区画整理事業施行地区内の就業人口が11人(R3当初)から58人(R6末)に増加			
	土地区画整理事業施行地区内の就業人口	11人	人	58人
3	工業団地から、地域高規格道路へのアクセス時間の短縮			
	荒尾北工業団地から、地域高規格道路へのアクセスが道路整備により向上するため到達時間の短縮 (1 - (整備後のアクセス時間/アクセス時間)) × 100	0%	0%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される事業：A01-001														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	荒尾市	直接	荒尾市	区画	改築	南新地地区((都)荒尾 北インター線外)	区画整理 A = 34.5ha	荒尾市						210		未策定	
												小計						210		
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	荒尾市	直接	荒尾市	-	-	南新地土地区画整理事業	都市再生区画整理 A = 34.5h a	荒尾市						1,315		未策定	
												小計						1,315		
											合計						1,525			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	286	171	28		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	286	171	28		
前年度からの繰越額 (d)	0	201	88		
支払済額 (e)	85	284	96		
翌年度繰越額 (f)	201	88	20		
うち未契約繰越額(g)	146	16	8		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	51.04	4.3	6.89		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	2重投資を回避するため、関係事業者との協議に時間を要したため				